

# キャンバービーム注文シート

※車種によって内容が異なるのでご注意ください。

FAX 086-250-9009

20 年 月 日

メーカー	車輦形式	車輦番号
年式	商品	駆動方式
	製品 下取り品 ※保証金¥50,000必要 現物支給品 ※現物送付必要	2WD  4WD
		Camber Beam DOWN量 ○で囲む  10mm・20mm(オプション10,000円税別) 30mm(標準仕様)(4WDは30mm以下) 40mm(オプション10,000円税別)
ト一角 (注意書きを お読みください。)  HI (主にエアサス)  LOW (主に車高調)	キャンバー角 3度  5度  8度 ※5度・8度はタイヤ摩耗が大きくなります。 ※3度・8度はオプション10,000円税別	オフセット  0mm(標準)  オフセット変更の場合は車種によって 変わってまいります。お問い合わせください。 オプション(10,000円税別)  オフセット変更は4WDは不可となります。

ト一角 HIタイプ・LOWタイプの設定目安。  
 HIタイプ-30mm~-70mmDOWN位・・・ダウンスやエアサ取付け走行向け(40mm前後ローダウン)  
 LOWタイプ-80mm~-100mmDOWN位・・・車高調等の低車高向け(80mm前後のローダウン)  
 注：ノーマル状態からのダウン量です。走行時の車高でお考え下さい。キャンバービームのダウン量は含みません。  
 例 現在のダウン量が-90mm場合、キャンバービーム30mmダウンを装着して合計ダウン量が-120mmになり、  
 そのままの状態で行くのであればト一角はLOWタイプになりますが、キャンバービームで30mmダウンした分  
 を車高調もしくはエアサスなどで車高を+30mm上げた場合はト一角はHIタイプになります。理屈としてHIタイプになる  
 かというと、キャンバービーム30mmダウンを装着して車高が下がり過ぎた場合にト一角の設定はあくまでもノ  
 ーマルからのダウン量を目安にしているため、車高を+30mm上げることによって現在のダウン量が-90mmが-60mmダ  
 ウンという状態になってしまう為、HIタイプになります。※この商品は車高ダウン量・車輦個体差及び  
 製品の製作の過程で多少の数値の誤差が出る場合がございます。あくまで前後平行状態での目安の数値ですので  
 ト一角は車輦の状態などにより必ずしもインになるとは限りませんので予めご了承下さい。  
 この商品はVIAの強度試験に合格していますが、公道走行時は公認を必ず取得をお願いします。  
 ★ 不明な点はお問い合わせください。

販売店名(社印) ※個人様の場合はお名前を記入ください。	
住所	
電話番号	FAX番号



イデアル株式会社  
 岡山県岡山市南区藤田1420-11  
 TEL086-250-9000  
 FAX086-250-9009